

## 学習（教育）目標別の行動目標

|                       |  |                              |                                     |  |
|-----------------------|--|------------------------------|-------------------------------------|--|
| 総論的・普遍的なもの            | 1. マネジメントの知識と技能の応用                             |                              |                                     |  |
|                       | 行動目標   | 1-1                          | 組織・チームにおけるリーダー・マネジャーの役割についての知識と応用   | 優れたリーダー・マネジャーのモデルを知っている<br>自己のスタイルを自覚している<br>プロジェクト・マネジメントができる<br>リーダーとしてビジョンと戦略を語る事ができる   |
|                       |  | 1-2                          | 関わる法人・事業所・チームなどのミッション・ビジョン・戦略の策定と実行 | 歴史や到達点・課題を説明できる<br>ミッション・ビジョン・長期構想・戦略などを立案できる<br>戦略の実行のための組織を設計できる<br>短期ゴールと達成に必要な計画を立案できる<br>類似業界におけるポジショニング・差別化戦略とその理由を説明できる                               |
|                       |  | 1-3                          | 問題解決の知識と応用                          | 状況を多面的に分析し、課題を整理できる<br>問題解決のために集めるべき情報を多面的にあげ、優先順位を示すことができる<br>問題解決のための戦略を複数あげることができる<br>複数の戦略について、強みと弱み・リスク・倫理上の配慮などをもとに優先順位をつけられる<br>関係者に説明し行動を引き起こすことができる |
|                       | 2. 人材の能力開発の方法論の知識と応用                           |                              |                                     |  |
|                       | 行動目標   | 2-1                          | 人材確保・育成(キャリア・マネジメント)戦略・計画の立案と管理     | ライフステージにあった研修計画を立案しコーディネートできる<br>各種研修会で講師やファシリテーターを務められる<br>自らの専門職としての技術の蓄積と更新ができる<br>スタッフの技術評価と開発を支援できる   |
|                       |  | 2-2                          | 人事労務管理・メンタルヘルスの知識と応用                | 労働基準法の理解と遵守ができる<br>人の管理ができる<br>職業性ストレスやメンタルヘルスの知識があり応用ができる   |
|                       |  | 2-3                          | 生涯学習(教育)理論・人間の発達課題の知識と応用            | 自己および他者の学習ニーズ・課題の設定ができる<br>課題達成のための学習・研修計画を立案・実施できる<br>自己評価・他者の評価の基準を設定し評価することができる<br>スーパーバイズ・メンタリング・コーチングの理論とプロセスを説明できる<br>スーパーバイザー・メンター・コーチとして支援したことがある    |
|                       | 医療福祉サービス領域に関するもの                               | 3. ソーシャルワーク/ケアの質マネジメントの知識と応用 |                                     |  |
|                       |  | 行動目標                         | 3-1                                 | ソーシャルワークの価値に基づく知識と技術の応用  |
| 3-2                   |  |                              | ケアの質マネジメントの知識と応用                    | ケアの質に関わる要素・影響する因子を説明できる<br>ケアの質を高めるシステム・技法について説明できる<br>ケアの質や安全のマネジメントの仕組みづくりを計画・導入・運営できる   |
| 3-3                   |  |                              | 安全・リスクマネジメントの知識と応用                  | どのようなリスクやインシデンスがどれくらいあるのかを説明できる<br>安全・リスクマネジメントのプロセスを説明できる<br>事故発生時の対応ができる   |
| 福祉経営に関するもの            | 4. 福祉経営に関する知識と応用                               |                              |                                     |  |
|                       | 行動目標   | 4-1                          | 医療福祉における経営環境の理解                     | 医療福祉制度・政策・経済の文脈が理解できる<br>診療報酬・介護報酬の改定動向など自分の専門分野の政策動向が理解できる  |
|                       |  | 4-2                          | 経営学中核理論の理解と医療福祉領域への応用               | 経営戦略、マーケティング、組織論などの経営学の中核理論が理解できる<br>医療福祉経営の特性を踏まえて経済学中核理論の応用ができる  |
|                       |  | 4-3                          | 経営課題の分析と経営戦略の立案                     | 医療福祉経営における課題について経営学中核理論あるいは会計学等を用いて分析できる<br>医療福祉経営における課題に対して新たな経営戦略を提案できる  |
| 多職種連携チームに関するもの        | 5. 多職種連携チーム(Inter Professional Teams)に関する知識と応用 |                              |                                     |  |
|                       | 行動目標   | 5-1                          | 背景の異なる多職種の専門性の理解、異なる意見の受容、多様な見方の共有  | 他職種のもつパラダイムと基本的概念・用語を理解している<br>多職種の得意なこと、苦手なことを説明できる   |
|                       |  | 5-2                          | 専門の異なる職種に対する根拠に基づく意見の説明             | 他職種に対し自分の専門性を説明できる   |
|                       |  | 5-3                          | チームにおけるゴールの共有と論点の整理                 | 保健・医療・福祉に共通する価値を説明できる<br>コンセンサスと論点を整理できる   |
| 修士レベルの高度専門職業人に求められるもの | 6. 先行事例やエビデンスの批判的吟味と活用                         |                              |                                     |  |
|                       | 行動目標   | 6-1                          | 課題の発見・設定と必要な情報収集                    | インターネットの検索機能を使う<br>文献データベースを活用できる  |
|                       |  | 6-2                          | 妥当性や信頼性の批判的な吟味                      | 妥当性や信頼性を説明できる  |
|                       |  | 6-3                          | 自分の状況に合わせた活用                        | 状況にふさわしいものを選択し、使用できる   |
|                       | 7. 客観的事実・根拠を踏まえ、自分の意見を述べる事ができる表現力・文章作成能力       |                              |                                     |  |
|                       | 行動目標   | 7-1                          | 事実・根拠・理由を示した口頭での意見陳述                | 報告会・学会などで発表ができる  |
|                       |  | 7-2                          | 求められた形式に沿った文書での表現                   | 執筆要項に沿った論文を書くことができる  |
| 7-3                   |  | 予想される批判や疑問の想定と応答             | 報告会・学会などでの質疑に対応できる                  |  |